

平成 18 年度第 1 回自動車整備士技能検定学科試験

〔二級ジーゼル自動車整備士〕

18. 7. 19

問 題 用 紙

〔注意事項〕

1. 問題用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 問題用紙と答案用紙は別になっています。解答は答案用紙に記入すること。
3. 答案用紙の「受験地」、「種類」、「番号」、「氏名(フリガナ)」、「生年月日」の欄は、次により記入しなさい。これらの記入がない場合又は正しくない場合は、失格とします。
 - (1) 「受験地」、「種類」の空欄には、黒板等に記載された数字を正確に記入するとともに、該当する○で囲んだ数字を黒く塗りつぶしなさい。
 - (2) 「番号」の空欄は、受験票の数字を正確に記入するとともに、該当する○で囲んだ数字を黒く塗りつぶしなさい。
 - (3) 「氏名(フリガナ)」の欄は、漢字は楷書で、フリガナはカタカナで、正確かつ明瞭に記載すること。
 - (4) 「生年月日」の欄は、該当する元号を○で囲み、年月日はアラビア数字で、正確かつ明瞭に記入すること。
4. 答案用紙の「実技試験」の欄は、該当する言葉の上の○を黒く塗りつぶしなさい。
5. 答案用紙の解答欄は、次により記入しなさい。
 - (1) 解答は、各問題ごとに**最も適切なものを1つ**選んで、答案用紙の注意事項に従い、答案用紙の解答欄の①～④の数字を黒く塗りつぶしなさい。2つ以上マークするとその問題は不正解とします。
 - (2) 所定欄以外には、記入したり、マークしたりしないこと。
 - (3) マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶすこと。ボールペン等は使用できません。
良い例 ● 悪い例 ○~~●~~ ○~~○~~ ○~~○~~ ○~~○~~ ○~~○~~ (薄い)
 - (4) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消すこと。
 - (5) 答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないこと。
6. 簡易な卓上計算機(四則演算、平方根($\sqrt{\quad}$)及び百分率(%))の計算機能だけを持つもの)の使用は認めますが、それ以外の計算機を使用してはいけません。
7. 試験開始後 30 分を過ぎれば退場することができますが、試験員の指示に従って静かに退場すること。一度退場した場合は、その試験が終了するまで再度入場することはできません。
8. 試験会場から退場するとき、問題用紙は持ち帰ること。

【No. 1】 プリストローク電子制御式インジェクション・ポンプに関する記述として、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

プリストローク電子制御式インジェクション・ポンプでは、エンジン回転速度が低速の場合、コントロール・ユニットからの信号によりプリストロークを(イ)させると、噴射時期は(ロ)なり、送油率(単位時間あたりの燃料圧送割合)が(ハ)なる。

- | | イ | ロ | ハ |
|-----|-----|----|----|
| (1) | 大きく | 遅く | 高く |
| (2) | 大きく | 早く | 低く |
| (3) | 小さく | 遅く | 低く |
| (4) | 小さく | 早く | 高く |

【No. 2】 エンジン油圧制御のレギュレータ・バルブに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) オイル・ポンプ部に設けられ、エンジンの回転速度が上昇して油圧が規定値を超えるとバルブが開き、オイルの一部を吸入側に戻して油圧を調整する。
- (2) オイル・ストレーナ部に設けられ、オイル・ストレーナが目詰まりを起こしたときにバルブが開き、オイルを直接潤滑部に送り潤滑不良になるのを防止する。
- (3) オイル・フィルタやオイル・クーラ部に設けられ、オイル・フィルタやオイル・クーラが詰まった時にバルブが開き、オイルを直接潤滑部に送り潤滑不良になることを防止する。
- (4) オイル・ギャラリ部に設けられ、オイル・ギャラリの油圧が規定値を超えると開き、オイルをオイル・パンに逃がして、油圧の異常上昇を防止する。

【No. 3】 インジェクション・ポンプのデリバリ・バルブ・スプリングが衰損したときに起きる現象として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 燃料噴射量が不均一になる。
- (2) 燃料噴射開始圧力が低くなる。
- (3) 燃料噴射開始圧力が高くなる。
- (4) 噴射時期が遅くなる。

【No. 4】 リダクション式スタータに関する記述として、次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

リダクション式スタータは、減速ギヤによりアーマチュアの回転を(イ)に減速することにより、駆動トルクを(ロ)させてピニオンに伝えているので、直結式のものに比べるとモータを(ハ)にして、スタータを小型軽量化している。

	イ	ロ	ハ
(1)	1/2程度	増大	低速型
(2)	1/2程度	減少	高速型
(3)	1/3～1/4	減少	低速型
(4)	1/3～1/4	増大	高速型

【No. 5】 列型インジェクション・ポンプのRFD型ガバナの調整に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ガバナのフライウエイのリフト量は、高速制御と低速制御とに振り分けて調整する。
- (2) ガバナのフライウエイのリフト量の振り分けは、ダンパ・スプリング・アジャスト・ボルトを調整して行う。
- (3) ダンパ・スプリングの調整不良は、エンスト、ハンチング、減速不良等の原因となる。
- (4) 高速制御開始点の調整は、スピード・アジャスト・ボルトで行う。

【No. 6】 バッテリに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

バッテリー容量は、(イ)が小さいほど小さくなるが、これは化学反応に必要な硫酸基の補給速度が遅れて、早く(ロ)に到達するためである。また、電解液温度が高いほどバッテリー容量は(ハ)するが、これは(ニ)の拡散が促進されるためである。

	イ	ロ	ハ	ニ
(1)	放電電流	定格電圧	減少	硫酸鉛
(2)	放電電流	放電終止電圧	増加	硫酸鉛
(3)	放電率	放電終止電圧	増加	電解液
(4)	放電率	定格電圧	減少	電解液

【No. 7】 ターボ・チャージャに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

タービン・ホイール及びコンプレッサ・ホイールは、最高毎分 20 数万回転するため、ジャーナル・ベアリングには、(イ)・ベアリングを使用している。

このベアリングでは、シャフトのわずかなアンバランスによって発生する(ロ)回転時の振動が吸収されると共に、ベアリングの周速はシャフトの(ハ)となる。

	イ	ロ	ハ
(1) フルフローティング		高 速	約半分
(2) スラスト		高 速	約倍速
(3) フルフローティング		低 速	約倍速
(4) スラスト		低 速	約半分

【No. 8】 ピストン・リングのコンプレッション・リングに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

コンプレッション・リングは、シリンダ内壁とピストンとの間の気密を保つ働きと、燃焼によりピストンの受ける(イ)をシリンダに伝える役目をしている。

バレル・フェース型は、しゅう動面が(ロ)になっており、初期なじみの異常摩耗が少なく、シリンダ壁との(ハ)を一定に保ち、ひっかき傷の発生を防止している。

	イ	ロ	ハ
(1) 圧 力		円弧状	気 密
(2) 熱		円弧状	油 膜
(3) 圧 力		テーパ状	気 密
(4) 熱		テーパ状	油 膜

【No. 9】 ジーゼル・エンジンの渦流室式燃焼室の特徴に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 強いスワールを利用するので、平均有効圧力は低い。
- (2) 直接噴射式に比べて燃料噴射圧力を高くする。
- (3) 燃焼室の表面積が比較的小さく、熱効率が高いので燃料消費率が小さい。
- (4) 比較的高速回転に適し、使用回転範囲が広い。

【No. 10】 クランクシャフトに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) クランクシャフトのバランス・ウェイトは、クランクシャフトの軸方向の力を受けるために設けられている。
- (2) 燃焼圧力によるトルクの変化によってクランクシャフトに生じるねじり振動は、トーショナル・ダンパによって減衰される。
- (3) クランクシャフトのジャーナル・ベアリングには、クランクシャフトとベアリングの間にオイルを満たすためのオイル口とオイル溝が設けてある。
- (4) クランクシャフトの振動を抑えるためのバランス・シャフトは、クランクシャフトの2倍の回転速度で回転している。

【No. 11】 バルブ機構に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) オイル・タペットは、バルブ開閉機構の騒音を低減させると共に、バルブ・クリアランスをゼロに保つ自動調整機構として用いられている。
- (2) バルブ・スプリングのサージング現象とは、バルブ・スプリングが共振を起して異常な振動をする現象のことをいい、高速回転時に発生しやすい。
- (3) バルブ・スプリングに複式スプリングや不等ピッチ・スプリングを用いるのは、スプリングの異常振動を防止するためである。
- (4) 不等ピッチ・スプリングは、ピッチの大きい方をシリンダ・ヘッド側に向けて組付ける。

【No. 12】 分配型インジェクション・ポンプに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) エンジンを停止させるときの燃料噴射の遮断は、フューエル・カット・ソレノイド・バルブで行っている。
- (2) ポンプ内にガバナ、タイマが内蔵されている。
- (3) ポンプ・ハウジング内の余剰燃料をフューエル・タンクへ戻すことにより、ポンプ本体の冷却も行う。
- (4) ガバナ・フライウエイトは、ドライブ・シャフト・ギヤにより減速されて回転している。

【No. 13】 プレッシャ型ラジエータ・キャップの機能に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ラジエータを密封し、冷却水の熱膨張によって圧力をかけ、水温が100℃以上になっても沸騰しないようにして、気泡の発生を抑え冷却効果を高めている。
- (2) ラジエータ内が規定圧力範囲内のときには、プレッシャ・バルブとバキューム・バルブが閉じて、ラジエータ内の気密を保っている。
- (3) 冷却水温度が上昇し、ラジエータ内の圧力がバルブ・スプリングのばね力に打ち勝つと、バキューム・バルブが開いてラジエータ内の圧力を調整する。
- (4) プレッシャ・スプリングが衰損すると、ラジエータ内の圧力が規定圧力に達する前に冷却水が沸騰し、冷却水が減少する原因となる。

【No. 14】 ジーゼル・ノックを防止する方法として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 吸入空気温度を上げる。
- (2) 噴射時期を適正にする。
- (3) 圧縮圧力を高くする。
- (4) 噴射初めの燃料噴射量を多くする。

【No. 15】 励磁式オルタネータに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) デルタ結線を用いることにより、最大出力電流は劣るが、低速特性に優れている。
- (2) スター結線を用いることにより、中性点が利用でき、結線が簡単である。
- (3) 三相交流の場合、任意の時間における三つの電圧の大きさは、電圧の向きを考え合計すると常に0となる。
- (4) オルタネータの出力の制御は、ロータ・コイルに流れる電流を断続させて行っている。

【No. 16】 油圧制御式のオートマティック・トランスミッションのプラネタリ・ギヤを車速及びエンジンの負荷に応じて切り換える働きをする部品として、適切なものは次のうちどれか。

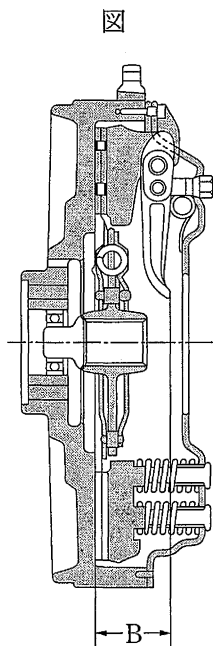
- (1) スロットル・バルブ
- (2) ガバナ・バルブ
- (3) シフト・バルブ
- (4) マニュアル・バルブ

【No. 17】 電気式 SRS エア・バッグ・システムに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

SRS ユニットの、衝突時の衝撃を検知する(イ)と(ロ)を内蔵している。(イ)は、圧力が変化すると抵抗が変化することを利用し、減速度に応じた衝突の判定を行い衝突判定回路に信号を入力している。(ロ)は点火回路に(ハ)に配置されており設定値以上の衝撃で接点を(ニ)インフレーターを作動させる。

	イ	ロ	ハ	ニ
(1)	機械式センサ	半導体 G センサ	直列	開いて
(2)	半導体 G センサ	機械式センサ	並列	閉じて
(3)	機械式センサ	半導体 G センサ	並列	開いて
(4)	半導体 G センサ	機械式センサ	直列	閉じて

【No. 18】 クラッチ・ディスクのフェーシングが摩耗した場合の記述として、適切なものは次のうちどれか。



- (1) B の寸法が大きくなり、クラッチ・スプリングの取付け高さが低くなる。
- (2) B の寸法が大きくなり、クラッチ・スプリングの取付け高さが高くなる。
- (3) B の寸法が小さくなり、クラッチ・スプリングの取付け高さが低くなる。
- (4) B の寸法が小さくなり、クラッチ・スプリングの取付け高さが高くなる。

【No. 19】 インタ・アクスル・ディファレンシャルに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

インタ・アクスル・ディファレンシャルは、後二軸駆動の二軸間に装着される差動機構で、旋回時に発生する二軸間の回転速度差や(イ)の差による二軸間に回転速度差が生じたときに作動して、タイヤの摩耗防止や(ロ)の均等配分を行う。また、路面状態によって二軸の一方が空転をした場合、インタ・アクスル・ディファレンシャルの差動機能を停止させるための(ハ)装置も設けられている。

	イ	ロ	ハ
(1) 二軸間の距離		コーナリング・フォース	ディファレンシャル・ロック
(2) 二軸間の距離		駆動力	シフト・ロック
(3) タイヤ外径		駆動力	ディファレンシャル・ロック
(4) タイヤ外径		コーナリング・フォース	シフト・ロック

【No. 20】 油圧式パワー・ステアリングに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものは次のうちどれか。

パワー・ステアリングの作動圧力の測定は、エンジン回転速度を(イ)程度にして計測具のストップ・バルブを徐々に締め込み、圧力計の(ロ)を読む。

	イ	ロ
(1) 1500 min ⁻¹		最高圧力
(2) 1500 min ⁻¹		最低圧力
(3) 3000 min ⁻¹		最低圧力
(4) 3000 min ⁻¹		最高圧力

【No. 21】 インテグラル型パワー・ステアリング(ロータリ・バルブ式)に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

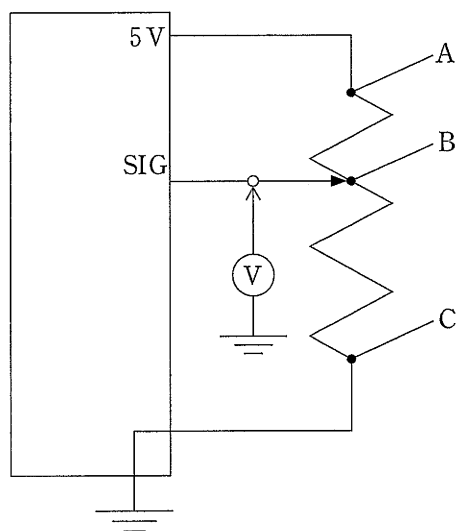
- (1) 直進時、オイル・ポンプからのオイルはスリーブとスプール・バルブの油路が閉じているため、パワー・シリンダの両室に作用する油圧は生じない。
- (2) かじ取り感覚(手応え)は、トーション・バーのねじれを反力として利用している。
- (3) 旋回時、ウォーム・シャフトのねじれ角に応じてスリーブが回転し、油路の切替を行う。
- (4) 油圧が発生しない場合は、ハンドルを回転させると、スリーブとトーション・バーがストッパ部に当たり直接回転させる。

【No. 22】 エディ・カレント・リターダに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 車輪のスリップ状況を電氣的に感知し、ブレーキの作動油圧を減圧，増圧，保持させる働きを行う装置である。
- (2) エンジンのエキゾースト・パイプ内にバルブを設け，これを閉じて排気行程における抵抗を増大し，エンジン・ブレーキの制動効果を増すものである。
- (3) 磁気の利用して自動車を減速させる装置で，トランスミッションやプロペラ・シャフトなどの動力伝達装置に取り付けられている。
- (4) 駆動輪に掛かる駆動力を小さくしてスリップを回避し，エンジンの出力制御及び駆動輪のブレーキ制御を併用して適切な駆動力に制御している。

【No. 23】 図の回路において，次の文章の()にあてはまるものとして，適切なものはどれか。

図



A—C間の抵抗が 50Ω で，電圧計⑦に $2V$ の電圧を示した。その時のA—B間の抵抗は(イ) Ω となる。B点がC点方向に移動すると電圧計⑦の示す電圧は(ロ)なる。

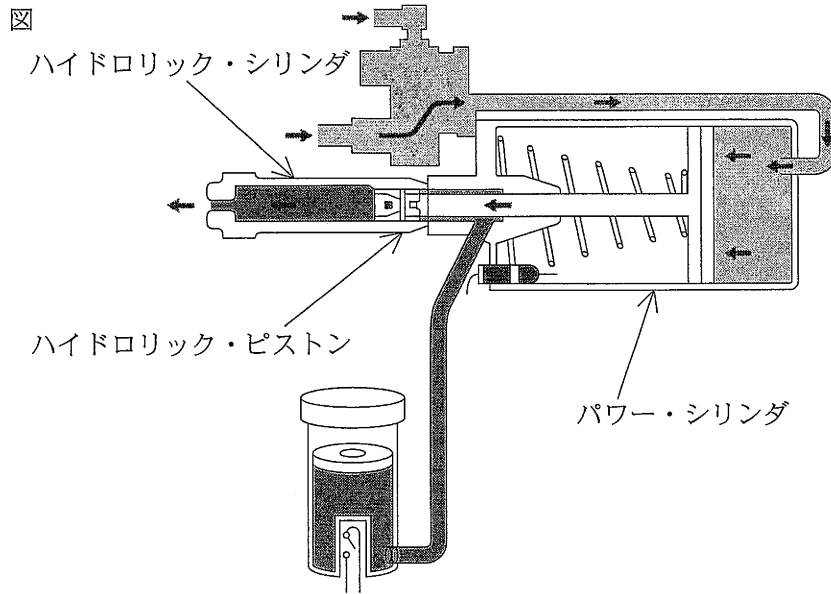
イ ロ

- (1) 20 大きく
- (2) 30 小さく
- (3) 20 小さく
- (4) 30 大きく

【No. 24】 図のパワー・シリンダに 600 kPa の圧力をかけたとき、ハイドロリック・ピストンを押す力として、適切なものは次のうちどれか。なお、円周率は 3.14 とする。

パワー・シリンダの内径 200 mm

ハイドロリック・シリンダの内径 40 mm



- (1) 3000 N
- (2) 7536 N
- (3) 15000 N
- (4) 18840 N

【No. 25】 自動車の旋回性能に関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

一定のかじ取り角度を保ちながら自動車を旋回した場合、速度が増すにつれて、フロント・ホイールのコーナリング・フォースがリヤ・ホイールに比べて(イ)し、旋回半径が(ロ)なることをアンダステアという。また、逆に旋回半径が(ハ)なることをオーバステアという。

- | | イ | ロ | ハ |
|-----|----|-----|-----|
| (1) | 低下 | 大きく | 小さく |
| (2) | 低下 | 小さく | 大きく |
| (3) | 増加 | 大きく | 小さく |
| (4) | 増加 | 小さく | 大きく |

【No. 26】 電子制御式 ABS について、次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

ABS のコントロール・ユニットは、各車輪速センサ、スイッチなどからの信号を入力し、コントロール・ユニットでプログラム処理を行い、アクチュエータであるハイドロリック・ユニットに(イ)する。

センサ信号、アクチュエータ作動信号及びコントロール・ユニット自体に異常が発生した場合は、ハイドロリック・ユニットへ(ロ)を供給するバルブ・リレーが(ハ)して、通常のブレーキ機能を確保すると共に、ABS ウォーニング・ランプが点灯する。

	イ	ロ	ハ
(1)	作動油圧を供給	電 源	作動開始
(2)	作動信号を出力	油 圧	作動停止
(3)	作動油圧を供給	油 圧	作動開始
(4)	作動信号を出力	電 源	作動停止

【No. 27】 プロペラ・シャフトに関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

大型車、高性能車では、プロペラ・シャフトが共振することを防ぐために、(イ)のプロペラ・シャフトを採用し、(ロ)でシャシ・フレームのクロス・メンバに支持する構造が多い。

	イ	ロ
(1)	一体式	センタ・ベアリング
(2)	一体式	ニードル・ベアリング
(3)	分割式	センタ・ベアリング
(4)	分割式	ニードル・ベアリング

【No. 28】 ボデーの振動及び揺動に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 上下振動は、(路面からボデーに伝わる)振動数が多いと不快感を強く与え、余り少ないと船酔いの現象を起こす。
- (2) ワンダリングとは、路面のわだちで車がふらつき、真つすぐに走らない不安定な状態をいう。
- (3) ローリングとは、ボデーの横揺れのことをいい、一般にロール・センタは車軸懸架式に比べ独立懸架式の方が高い。
- (4) ピッチングとは、ボデーの縦揺れのことである。

【No. 29】 圧縮空気式制動倍力装置の故障原因として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ハイドロリック・ピストンのチェック・バルブの密着が悪いと、ブレーキの効きが悪くなる。
- (2) リレー・バルブのピストンが押し下げられているとき、排出孔からエアが排出していると、ブレーキの効きが悪くなる。
- (3) リレー・バルブ・ピストンの戻りが悪いと、ブレーキの効きが悪くなる。
- (4) ブレーキ・バルブのセカンダリ・ピストンの動きが悪いと、ブレーキの効きが悪くなる。

【No. 30】 エア・スプリングの特徴に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) スプリングの硬さが荷重にほぼ比例して変化し、空車時、積車時の乗り心地の差が少ない。
- (2) 荷重によってエアの圧力を自動的に調整するための機構が必要となる。
- (3) 上下動による振動を減衰する作用が大きいため、ショック・アブソーバは必要ない。
- (4) 空気圧を自動的に調整するため、荷重が変化しても車高を一定に保つことができる。

【No. 31】 制動距離に関する次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

制動距離とは、ブレーキが作用して減速し始めてから停止するまでに走行した距離で、(イ) 及び自動車の質量に比例し、(ロ) に反比例する。

- | | イ | ロ |
|-----|-------|--------|
| (1) | 速度 | 自動車の重量 |
| (2) | 速度 | 制動力 |
| (3) | 速度の二乗 | 自動車の重量 |
| (4) | 速度の二乗 | 制動力 |

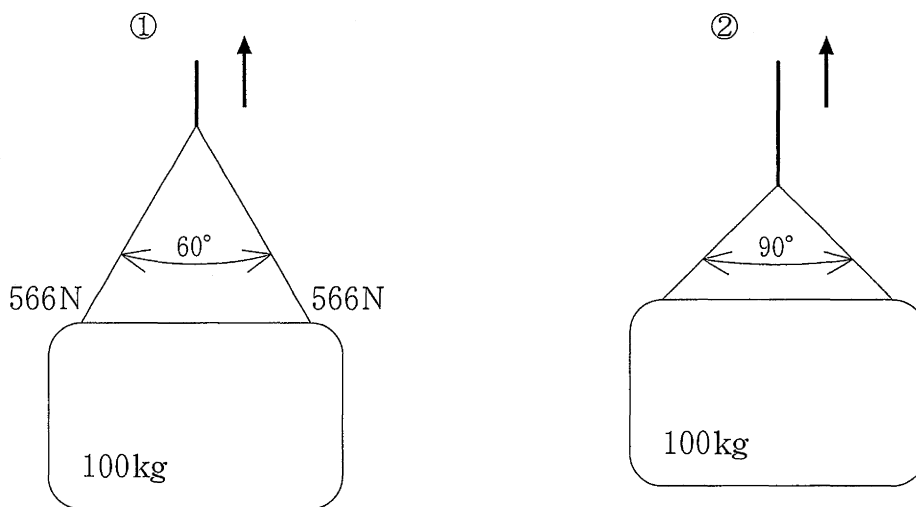
【No. 32】 タイヤのトレッドが内側から外側に向かって羽根状に摩耗する原因として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) トーインの過大
- (2) トーアウトの過大
- (3) キャンバの過少
- (4) キャンバの過大

【No. 33】 図のようなワイヤの掛け方で、チェーン・ブロックを用いて重量物をつり上げるとき①のワイヤに掛かる力は約 566 N であるが、②のワイヤに掛かる力として適切なものは次のうちどれか。

ただし、 $\sqrt{2} = 1.41$ $\sqrt{3} = 1.73$ $\sqrt{5} = 2.24$ $\sqrt{6} = 2.45$ とする。

- (1) ①に対し約 1.2 倍
- (2) ①に対し約 1.5 倍
- (3) ①に対し約 1.7 倍
- (4) ①に対し約 2 倍



【No. 34】 ジーゼル・エンジン燃料の軽油に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 軽油に含まれる硫黄分は、一般に 1～2 % 程度である。
- (2) 軽油の着火点は、一般に 45～80℃ 程度である。
- (3) 軽油の低発熱量は、一般に 42300～44000 kJ/kg 程度である。
- (4) 軽油のセタン価は、一般に 75～80 程度である。

【No. 35】 ロング・ライフ・クーラント (LLC) に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) LLC の主成分は、凍結防止剤のエチレン・グリコールである。
- (2) LLC の主な役割は、凍結防止、防錆、エンジン冷却である。
- (3) LLC の劣化判定は、LLC に含まれる金属イオンの量からできる。
- (4) LLC の混合率と凍結温度は比例する。

【No. 36】 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、次の文章の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。

大型後部反射器の数は(イ)個以下であり、その取り付け高さは、同反射器の上縁において地上(ロ)メートル以下であること。

- | | | |
|-----|---|-----|
| | イ | ロ |
| (1) | 2 | 1.5 |
| (2) | 2 | 1.8 |
| (3) | 4 | 1.5 |
| (4) | 4 | 1.8 |

【No. 37】 下の表は、「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、近接排気騒音の騒音規制値(平成13年規制)を表したものである。表の()にあてはまるものとして、下の組み合わせのうち適切なものはどれか。ただし、二輪自動車は除く。

自 動 車 の 種 類			騒音の大きさ (dB)
大型特殊自動車及び小型特殊自動車			110
普通自動車、小型自動車及び軽自動車(専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下の自動車を除く。)	車両総重量 3.5t超	最高出力150kW超	(イ)
		最高出力150kW以下	(ロ)
	車両総重量3.5t以下		(ハ)
専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下の普通自動車、小型自動車及び軽自動車	後部原動機		100
	後部原動機以外		96

- | | | | |
|-----|-----|----|----|
| | イ | ロ | ハ |
| (1) | 99 | 98 | 96 |
| (2) | 99 | 98 | 97 |
| (3) | 100 | 98 | 96 |
| (4) | 100 | 99 | 98 |

【No. 38】 「自動車点検基準」に規定された「自家用貨物自動車等の定期点検基準」のうち、6月ごとに行う制動装置の点検項目として、適切なものはどれか。

- (1) 倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- (2) ブレーキディスクとパッドとのすき間
- (3) ホース及びパイプの漏れ、損傷及び取付状態
- (4) ブレーキ・シューの摺動部分及びランニングの摩耗

【No. 39】 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、自動車の内圧容器及びその付属装置について、不適切なものはどれか。

- (1) 内圧容器は、自動車に取り付けられた状態で見やすい位置に、最高使用圧力を表示したものであること。
- (2) 内圧容器は、点検しやすい場所に備えられていること。
- (3) 内圧容器及び導管は、自動車の走行中の振動、衝撃等により損傷を生じないように取り付けられていること。
- (4) 内圧容器には、容器内の圧力を指示する圧力計を同容器の付近に設けること。

【No. 40】 「自動車点検基準」に照らし、定期点検基準として、不適切なものはどれか。

- (1) 乗車定員2名、車両総重量7,950kgの事業用貨物自動車の定期点検整備は、「事業用自動車等の定期点検基準」に従って行わなければならない。
- (2) 乗車定員3名、車両重量3,950kg、最大積載量4,000kgの自家用貨物自動車の定期点検整備は、「自家用貨物自動車等の定期点検基準」に従って行わなければならない。
- (3) 乗車定員18人の自家用マイクロ・バスの定期点検整備は、「事業用自動車等の定期点検基準」に従って行わなければならない。
- (4) 乗車定員10人の自家用乗用自動車(貸渡自動車を除く。)の定期点検整備は、「自家用乗用自動車等の定期点検基準」に従って行われなければならない。